

道路照明の新設・廃止・変更等の事務手続きマニュアル

平成29年5月改訂版

名古屋市緑政土木局 路政部道路維持課

はじめに

本マニュアルは、各土木事務所が管理する道路施設（道路照明、道路標識、道路反射鏡、横断歩道橋、のり面、擁壁、カルバート、道路情報提供装置）に関して、工事・点検等に関わる全ての方々、すなわち各事業者並びに本庁・土木事務所の職員を対象とするものです。

平成26年度から電子台帳化された現在の台帳管理システムは、台帳管理を一元化し、道路施設管理に大いに活用していくものとしてスタートしましたが、その後の法定点検の制度化に対応するために、この度、マニュアルの改訂を行うこととなりました。

台帳管理にあたっては、各事業者は設置・修繕工事、各点検業務委託、事故復旧・承認工事、単価契約工事等の作業完了後に、また整理組合や開発行為等の引継時に土木事務所に電子台帳の補正データを提出します。

土木事務所は提出された補正データや市職員の直営作業によるデータの内容を確認後、それらを道路維持課に提出することで電子台帳が補正されます。併せて、同様の流れで補正データに関連する各種調書、詳細な点検結果や写真データも電子データとして道路維持課に提出します。

道路維持課では、補正された電子台帳を基に維持管理支援システムにデータを反映させ、関連する電子データを一元的に保管し、台帳管理を行います。

台帳管理は、あくまでも日々の各土木事務所で行き届く道路施設1基1基の管理がベースにあり、それらが道路維持課へ提出されることで成り立っています。本マニュアルは台帳管理の事務処理手続きを円滑に行うために、各事業者並びに本庁・土木事務所の職員が実施する各ケースの補正手続きについてとりまとめましたので、事務処理の参考に活用していただきたいと思います。



「言葉の定義」

1. 「道路施設」とは : 各土木事務所が管理する道路照明、道路標識、道路反射鏡、横断歩道橋、のり面、擁壁、カルバート、道路情報提供装置のこと。
2. 「新設」とは^{※1} : 道路管理者が発注する工事により、既存の道路施設が無い所に、新しく道路施設を設置すること。
3. 「引継」とは^{※1} : 整理組合や開発行為等により、新しく道路施設を設置し、それを道路管理者が引継ぐこと。
4. 「更新」とは^{※1、※4} : 既存の道路施設を“全て撤去”した後に、同じ箇所になく新しくそれと同等の道路施設を設置すること。並行して“撤去”に係る「廃止」も忘れずに行う。
5. 「廃止」とは^{※2、※4} : 既存の道路施設を“全て撤去”すること。
6. 「変更（修繕）」とは^{※3} : 既存の道路施設の一部を取り替えたり、補修・修繕すること。
7. 「変更（移設）」とは^{※3} : 既存の道路施設本体を、そのまま異なる箇所に移して設置すること。
8. 「変更（錯誤）」とは^{※3} : 既存の道路施設と電子台帳の内容に相違（設置箇所の間違い、各種記録の間違い等）が発見された場合に電子台帳を修正すること。
9. 「変更（点検）」とは^{※3} : 既存の道路施設の点検を実施し、その結果を電子台帳に記録すること。

【備考】

※1 上記 2. ～ 4. は固有 ID を道路維持課にて付与します。

※2 上記 5. では固有 ID を廃止し、今後の使用も禁止します。

※3 上記 6. ～ 9. は既存の固有 ID に対して、データ内容の変更をします。

※4 上記 4. 「更新」に際しては、5. 「廃止」を並行して実施します。

1. 補正区分毎の補正データの提出について

下記の表－1を参考に必要なシステム補正資料を土木事務所担当者（監督員）へ提出して下さい。土木事務所担当者は、内容を確認の上、道路維持課担当者へ提出して下さい。

表－1 道路照明の補正資料について

補正区分		エクセル 台帳	街路灯修繕 台帳の写し	竣工図 (構造図)	全景写真 (表裏)	位置図
新設・引継・更新		○	○	△※1	△※1	△※2
廃止		○	-	-	-	-
変更	修繕	○	-	-	-	-
	移設	○	○	-	-	△※2
	錯誤	○	△	-	-	△※2
	点検	○	-	-	-	-

※1 デザイン柱など特殊照明については提出。

※2 街路灯修繕台帳に記載があれば提出不要。

2. エクセル台帳

エクセル台帳とは、諸元データをはじめ、位置（座標）データ、修繕データ、点検データなどがリスト項目となったエクセルで作成した電子台帳ファイルです。

エクセル台帳には、必須入力項目と補正するデータ項目のみを入力して土木事務所担当者（監督員）に提出します。（すべての項目を入力する必要はありません）

3. エクセル台帳の記入方法

A欄：補正区分

「新設」、「引継」、「更新」、「修繕」、「廃止」、「移設」、「錯誤」、「点検」のうち、該当するものを選択する。※灯具のみの更新は「修繕」、支柱の更新を含む場合は、「廃止」（既存道路照明の撤去）＋「更新」（道路照明の新設）として補正データの提出が必要となります。

B欄：年月日

補正区分ごとに、下表（表－２）の記入すべき日付を西暦で記入する。記入すべき日付が不明な場合は、契約工期（業務期間）がある場合は完了日、無い場合はエクセル台帳を提出した日付を記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成26年4月1日 ×20140401 ×260401 ×2014.4.1 ×H26.4.1

表－２ 補正区分毎の記入すべき日付一覧

補正区分	記入すべき日付
「新設」	道路照明の設置工事が完了した日付（M欄と同じ日付）
「引継」	道路照明の引継を受けた日付
「更新」	道路照明の更新工事が完了した日付（M欄と同じ日付）
「修繕」	道路照明の修繕工事が完了した日付（BH欄と同じ日付）
「廃止」	道路照明を撤去工事が完了した日付
「移設」	道路照明を移設工事が完了した日付
「錯誤」	道路照明の錯誤が判明した日付
「点検」	道路照明の点検が完了した日付

C欄：固有ID

固有ID「照明（ライト）のL＋2桁の区番号＋5桁の番号」を記入する。

※新設・引継・更新の際は、道路維持課にて番号を付与する。

D欄：LEDリース機器の有無

街路灯にLEDリース機器がある場合は「有」を、ない場合は「無」を選択する。

E欄：LEDリース開始日

D欄でLEDリースが「有」の場合には、LEDリース開始日を記入する。「無」の場合は空欄にする。

例) ○2018/3/1 ×平成29年3月1日 ×20180301 ×290301 ×2018.3.1 ×H29.3.1

F欄：LEDリース完了日

D欄でLEDリースが「有」の場合には、LEDリース完了日を記入する。「無」の場合は空欄にする。

例) ○2028/2/29 ×平成39年2月29日 ×20280229 ×390229 ×2028.2.29
×H39.2.29

G欄：LEDリース会社

D欄でLEDリースが「有」の場合には、LEDリースの受注者名を記入する。「無」の場合は空欄にする。

H欄：土木事務所

土木事務所名を選択する。

I欄：管理番号

街路灯修繕台帳に記載の管理番号を記入する。

J欄：設置区

街路灯を設置されている区名を記入する。

K欄：設置町名

街路灯を設置されている町名を記入する。

L欄：設置番地

街路灯を設置されている番地を記入する。

M欄：設置年月日

設置年月日を西暦で記入する。不明の場合は、空欄とする。

例) ○2014/4/1 ×平成26年4月1日 ×20140401 ×260401 ×2014.4.1 ×H26.4.1

N欄：車道幅員

設置位置での車道の幅員(m)を小数点第一位まで記入する。(数値のみ)

なお、交差点等で複数路線にまたがる場合はR欄の上位路線を選択する。

例) 12.0

O欄：歩道幅員

設置位置での歩道の幅員(m)を小数点第一位まで記入する。(数値のみ)

なお、交差点等で複数路線にまたがる場合はR欄の上位路線を選択する。

例) 4.0

P欄：全幅員

設置位置での道路の全幅員(m)を小数点第一位まで記入する。(数値のみ)

なお、交差点等で複数路線にまたがる場合はR欄の上位路線を選択する。

例) 18.0

Q欄：車線数

設置位置での車線数を記入する。

「1車線」、「2車線」、「3車線」、「4車線」、「その他」うち該当するものから選択する。なお、交差点等で複数路線にまたがる場合はR欄の上位路線を選択するものとし、付加車線については考慮しないものとする。

R欄：道路種別

「国道」、「一般国道（指定区間外）」、「主要県道」、「一般県道」、「主要市道」、「一般市道」、「私道」、「私有地内」、「その他」のうち該当するものから選択する。交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

S欄：道路名

認定路線名を記入する。認定されていない路線の場合は「未認定」と記入する。

T欄：道路番号

道路番号を記入する。（認定道路の場合）

U欄：緊急輸送道路

緊急輸送道路の区分に応じて、「1次」、「2次」、「指定なし」のうち該当するものから選択する。

V欄：全体灯数

全体の灯数を記入する。

W欄：設置位置

街路灯の設置位置を「中央分離帯」、「路肩」、「歩道」、「橋梁・歩道橋」、「道路区域外」、「その他」のうちから該当するものを選択する。

X欄：合計ワット数

合計のワット数を記入。安定器などの損失分は含まない。単位は記入しない。

Y欄：街路灯種類コード1

一灯目の種類を選択する。（コード入力）

Z欄：街路灯種類1

入力不要：Y欄のコード選択により自動で入力される。

AA欄：承認番号1

Z欄がLEDの場合、承認番号を入れる。

例) 幹2局26-001

AB欄：ワット数1

一灯目のワット数を記入する

例) 17

AC欄：灯数1

一灯目の灯数を記入する。

AD欄：用途1

一灯目の街路灯の用途を「車道照明（交差点）」、「車道照明（カーブ）」、「車道照明（折れ点）」、「車道照明（横断歩道）」、「車道照明（中間照明）」、「車道照明（連続照明）」、「歩道照明」、「橋梁灯」、「歩道橋灯」、「トンネル照明」、「その他」のうちから該当するものを選択する。

AE欄：街路灯種類コード2

二灯目の種類を選択する。（コード入力）

AF欄：街路灯種類2

入力不要：AE欄のコード選択により自動で入力される。

AG欄：承認番号2

AF欄がLEDの場合、承認番号を入れる。

例) 幹2局26 -001

AH欄：ワット数2

二灯目のワット数を記入する

例) 17

AI欄：灯数2

二灯目の灯数を記入する。

AJ欄：用途2

二灯目の街路灯の用途を「車道照明（交差点）」、「車道照明（カーブ）」、「車道照明（折れ点）」、「車道照明（横断歩道）」、「車道照明（中間照明）」、「車道照明（連続照明）」、「歩道照明」、「橋梁灯」、「歩道橋灯」、「トンネル照明」、「その他」のうちから該当するものを選択する。

AK欄：アダプタの有無

アダプタの有無を「有」、「無」のうち、該当するものから選択する。

AL欄：自動点滅器の位置

自動点滅器の位置を「街路灯添架」、「代表街路灯添架」、「分電盤設置」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

AM欄：ルーバーの有無

ルーバーの有無を「有」、「無」のうち、該当するものから選択する。

AN欄：交差点

交差点の有無を「有」、「無」のうち、該当するものから選択する。

AO欄：横断歩道

横断歩道の有無を「有」、「無」のうち、該当するものから選択する。

AP欄：高さ

街路灯の高さを記入する。（数値のみ）

例) 7.65

A Q 欄：構造

街路灯の構造を「直線テーパー」、「直線段付鋼管柱」、「カラーポール」、「デザイン柱」、「オーバーハングテーパー」、「オーバーハング段付鋼管柱」、「統合柱」、「共架」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

A R 欄：受電方法

街路灯の受電方法を「架空」「地下（メーター有）」「地下（メーター無）」「その他」のうち、該当するものから選択する。

A S 欄：使用電圧

使用電圧を「100V」、「200V」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

A T 欄：共架

街路灯が共架されている電柱等の共架対象施設を「中電柱」、「N T T 柱」、「直接入力」、「単独柱(共架なし)」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

A U 欄：塗装種別

街路灯の塗装種別を「塗装」、「メッキ」、「メッキ+塗装」、「カラーポール」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

A V 欄：塗装色

塗装色を塗料用標準色見本帳（日本塗料工業会）による分類を半角英数字で記入する。

例) HN70、H07-30F 等

A W 欄：引込電柱番号

引込電柱の番号を記入する。

A X 欄：施工者

設置工事、修繕工事等の受注者名を記入する。なお、名古屋市が直営で行った場合は職員と記入する。

A Y 欄：電気使用申込お客様名

電力会社との契約名義を記入する。

A Z 欄：お客様番号

電力会社との契約番号を記入する。

B A 欄：工事費

道路照明を設置した金額を工事費で記入する。複数の道路照明の新設を行った工事については、当該道路照明の工事費を記入する。

B B 欄：設置場所

設置場所を「交差点」、「変化点」、「横断歩道」、「中間部」、「連続照明」、「橋梁」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

B C 欄：添架物件

添架物件を記入する。

例) 路線名標識、警察標識 等

B D 欄：緯度

灯柱の位置で計測し、世界測地系の DMS 形式 (dd° mm' ss. s") で、「0.1 秒」単位まで記入する。(0.1 秒で約 3 m のズレが生じます)

例) ○35° 10' 48.8" ×35 度 10 分 48.8 秒 ×35.10488 ×日本測地系

B E 欄：経度

灯柱の位置で計測し、世界測地系の DMS 形式 (dd° mm' ss. s") で、「0.1 秒」単位まで記入する。(0.1 秒で約 3 m のズレが生じます)

※一般的な Yahoo 地図や Google マップ等を使用して緯度・経度を取得しようとする場合は、座標値が世界測地系 WGS84 形式 (例 35.221717, 136.902968) となるため、B D 欄“緯度”、B E 欄“経度”の記入にあたっては座標値を世界測地系 DMS 形式 (例 35° 13' 18.2" , 136° 54' 10.7") へ変換する必要があります。本市職員は維持管理支援システムから直接 DMS 形式の座標値を得ることが可能です。

B F 欄：基礎形式

街路灯の基礎形式を「埋込式」、「ベースプレート」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

B G 欄：地際部の種類

地際部の種類を「C o」、「A s」、「I L B」、「土」、「その他」のうち、該当するものから選択する。

B H 欄：修繕年月日

修繕を記載した措置の実施年月日を西暦で記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成 26 年 4 月 1 日 ×20140401 ×260401 ×2014. 4. 1 ×H26. 4. 1

B I 欄：修繕内容

修繕内容を記入する。

B J 欄：廃止年月日

廃止年月日を記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成 26 年 4 月 1 日 ×20140401 ×260401 ×2014. 4. 1 ×H26. 4. 1

B K 欄：備考 1

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

B L 欄：備考 2

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

B M 欄：備考 3

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

B N 欄：特記事項

特記事項を記入する。

B O 欄：塗装年度

塗装年度を西暦で記入する。

例) ○2014 ×平成 26

B P 欄：塗装面積

塗装面積(m²)を整数まるめで記入する。なお、小数点以下は四捨五入する。(数値のみ)

BQ欄：アセット

更新のアセット対象の街路灯に○、不明に△を記入する。

※本マニュアルに記載のないこと、その他疑義が生じた場合は、土木事務所担当者（監督員）と協議すること。

4. 提出データのファイル名、フォルダ構成等について

(1) 新設・引継・更新の場合（固有 ID が無いケース）

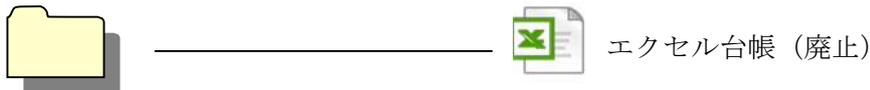


※各ファイルの項目は必ず「_」（アンダーバー）で区切ること。

日付は yyyyymmdd 形式（西暦で8桁表示）とし、エクセル台帳「B 欄」と合わせること。

写真が複数ある場合にはファイル名の最後にファイル名+_通し番号を振ること。

(2) 廃止の場合（固有 ID が有るケース）



廃止_施設名_区番号_提出日
(例：廃止_道路照明_01_20140401)

(3) 修繕・移設・錯誤・点検の場合（固有 ID が有るケース）



変更_施設名_区番号_提出日
(例：変更_道路照明_01_20140401)



※各ファイルの項目は必ず「_」（アンダーバー）で区切ること。

日付は yyyyymmdd 形式（西暦で8桁表示）とし、エクセル台帳「B 欄」と合わせること。

写真が複数ある場合にはファイル名の最後にファイル名+_通し番号を振ること。

5. エクセル台帳の記載項目

入力が必要な項目 ◎必須、○該当する項目があれば必須

△必要に応じて記入（既存データに誤りがある場合や空欄の場合等）

－入力不要（空欄にしておく項目）

項目	新設	引継	更新	廃止	変更		
					修繕	移設	錯誤
A	補正区分	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B	年月日	◎	◎	◎	◎	◎	◎
C	固有ID	－	－	－	◎	◎	◎
D	リース機器の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎
E	リース開始日	○	－	○	○	－	○
F	リース完了日	○	－	○	○	－	○
G	リース会社	○	－	○	○	－	○
H	土木事務所	◎	◎	◎	◎	◎	○
I	管理番号	◎	◎	◎	◎	◎	○
J	設置区	◎	◎	◎	◎	◎	○
K	設置町名	◎	◎	◎	○	○	○
L	設置番地	◎	◎	◎	－	△	○
M	設置年月日	◎	◎	◎	－	△	△
N	車道幅員	○	○	○	－	△	○
O	歩道幅員	○	○	○	－	△	○
P	全幅員	◎	◎	◎	－	△	○
Q	車線数	○	○	○	－	△	○
R	道路種別	◎	◎	◎	－	△	○
S	道路名	◎	◎	◎	－	△	○
T	道路番号	◎	◎	◎	－	△	○
U	緊急輸送道路	◎	◎	◎	－	△	○
V	全体灯数	◎	◎	◎	－	○	－
W	設置位置	◎	◎	◎	－	○	－
X	合計ワット数	◎	◎	◎	－	○	－
Y	街路灯種類コード1	◎	◎	◎	－	○	－
Z	街路灯種類1	◎	◎	◎	－	○	－
AA	承認番号1	◎	◎	◎	－	○	－
AB	ワット数1	◎	◎	◎	－	○	－
AC	灯数1	○	○	○	－	○	－
AD	用途1	○	○	○	－	○	－
AE	街路灯種類コード2	○	○	○	－	○	－

項目	新設	引継	更新	廃止	変更			
					修繕	移設	錯誤	
AF	街路灯種類 2	○	○	○	—	○	—	○
AG	承認番号 2	○	○	○	—	○	—	○
AH	ワット数 2	○	○	○	—	○	—	○
AI	灯数 2	○	○	○	—	○	—	○
AJ	用途 2	○	○	○	—	○	—	○
AK	アダプタの有無	◎	◎	◎	—	○	—	○
AL	自動点滅器の位置	◎	◎	◎	—	○	—	○
AM	ルーバーの有無	◎	◎	◎	—	○	—	○
AN	交差点	◎	◎	◎	—	△	○	○
AO	横断歩道	◎	◎	◎	—	△	○	○
AP	高さ	◎	◎	◎	—	○	—	○
AQ	構造	◎	◎	◎	—	○	—	○
AR	受電方法	◎	◎	◎	—	○	○	○
AS	使用電圧	◎	◎	◎	—	○	○	○
AT	共架	○	○	○	—	○	○	○
AU	塗装種別	◎	◎	◎	—	○	—	○
AV	塗装色	○	○	○	—	○	—	○
AW	引込電柱番号	◎	◎	◎	—	△	○	○
AX	施工者	◎	◎	◎	—	○	○	○
AY	電気使用申込お客様名	◎	◎	◎	—	△	○	○
AZ	お客様番号	◎	◎	◎	—	○	○	○
BA	工事費	◎	◎	◎	—	—	—	—
BB	設置場所	◎	◎	◎	—	—	○	○
BC	添加物件	○	○	○	—	—	○	○
BD	緯度	◎	◎	◎	—	—	◎	○
BE	経度	◎	◎	◎	—	—	◎	○
BF	基礎形式	◎	◎	◎	—	○	○	○
BG	地際部の種類	◎	◎	◎	—	○	○	○
BH	修繕年月日	—	—	—	—	◎	◎	○
BI	修繕内容	—	—	—	—	◎	◎	○
BJ	廃止年月日	—	—	—	◎	—	—	—
BK	備考 1	○	○	○	○	○	○	○
BL	備考 2	○	○	○	○	○	○	○
BM	備考 3	○	○	○	○	○	○	○
BN	特記事項	○	○	○	○	○	○	○
BO	塗装年度	○	○	○	—	○	—	○

項目		新設	引継	更新	廃止	変更		
						修繕	移設	錯誤
BP	塗装面積	○	○	○	—	○	—	○
BQ	アセット	—	—	—	—	—	—	—

6. 参考資料

(1) 街路灯修繕台帳 (=旧紙台帳) (参考様式)

No.		街路灯修繕台帳										名古屋市緑政土木局							
①	設置場所																		
②	建設年月日	③ 幅員		車道幅員(m)		歩道幅員(m)		全幅員(m)											
			m		m		m				m								
④	道路種別	⑤ 道路名			⑥ 道路番号														
街路灯種別	⑦ 街路灯種別				⑧ ワット数	W													
	⑨ 形式	灯式			⑩ 交差点	⑪ 横断歩道													
	⑫ 高さ				⑬ 用途														
	⑭ 構造				⑮ 受電方法	⑯ 使用電圧													
	⑰ 共架				⑱ 街路灯管理区番号														
	⑲ 塗装種別				⑳ 引込電柱番号														
㉑	施工者				監督員														
㉒	電気使用申込お客様番号				取得金額	¥													
㉓	お客様番号				街路灯担当者確認欄														
詳細位置図(街路灯管理図)					修繕履歴														
					修繕年月日	事故	電球	自動点滅	ヒューズ	安定器	柱	アーム	グローム	灯具	塗装	記事欄			
構造図																			

